

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	臨床心理学						授業形態		
科目コード	304500	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	矢島 順								
授業概要	<p>臨床心理学とは、精神障害・心理的問題・不適応行動などについて、心理学的な知識や技法を用いて援助し、そのための理論や技法を研究し実践していく学問です。</p> <p>講師は精神科病院や公立中学校スクールカウンセラー業務、私設心理相談室宮崎カウンセリングセンター等の臨床現場で成人、児童生徒へのカウンセリングを行ってきています。平成29年に第1回国家試験が行われた公認心理師資格を取得しています。臨床現場での経験をもちに事例を交えながらわかりやすく授業します。特に差別や偏見の目で見られがちな精神障害者の理解の授業では関連ビデオ、資料を紹介しながら皆さんに深く考えてもらいたいと思っています。</p> <p>本授業の目的は、臨床心理学の基礎を理解し、臨床心理学的援助を理解し説明できるようになること、知能検査や心理検査など心理アセスメントについて説明できるようになること、いくつかの精神障害の症状や特徴について理解し説明できるようになること、発達上の心理学的問題について理解し説明できるようになること、ですが、これらを学び理解することで、学生の皆さん自身が自らの心の健康の保持増進ができるようになることが一番の目的です。</p>								
関連する科目	カウンセリング概論、児童生徒の心理と教育相談								
授業の進め方 と方法	本授業は、基本的に講義形式で行いますが、心理検査の体験や、知能指数の算出、ビデオ等視聴後の討論などワークやそれに伴うレポートも課題とします。								
授業計画 【第1回】	第1回：臨床心理学の心理学の中での位置づけと特徴を説明できる								
授業計画 【第2回】	第2回：臨床心理学援助の流れを説明できる								
授業計画 【第3回】	第3回：心理アセスメントの意味とアセスメントの流れを説明できる。相談援助形態の違い、カウンセリング、コンサルテーション、スーパービジョンについて理解し説明できる								
授業計画 【第4回】	第4回：知能、発達のアセスメントの手立てとしてビネー法知能検査やウエクスラー法知能検査について説明できる								
授業計画 【第5回】	第5回：心理アセスメントの手立てとして面接法や心理検査について説明できる。心理検査を体験することで他のアセスメント法との違い、メリット、デメリットを理解し説明できる。								
授業計画 【第6回】	第6回：精神障害の分類、不安障害の症状と特徴について理解し、その心理的援助を説明できる								
授業計画 【第7回】	第7回：精神障害の分類、統合失調症の症状と特徴について理解し、その心理的援助を説明できる。								
授業計画 【第8回】	第8回：精神保健医療の入院制度を理解し精神障害者の処遇の実際と人権擁護の問題を討論することができる。								
授業計画 【第9回】	第9回：ビデオなどにより精神障害者当事者の障害への向き合い方を知ることで、彼らへの理解を深める。								
授業計画 【第10回】	第10回：気分障害、うつ病の症状と特徴について理解し、その心理的援助を説明できる。								
授業計画 【第11回】	第11回：自閉症スペクトラム障害、虐待等、乳幼児期の発達上の心理的問題を理解し説明できる。								

授業計画 【第12回】	第12回：いじめや不登校等児童期思春期の心理的問題を理解し説明できる。
授業計画 【第13回】	第13回：自我同一性の獲得など青年期の心理的問題を理解し説明できる。
授業計画 【第14回】	第14回：自殺など成人期の心理的問題を理解し説明できるようになるとともに、ストレスへの気づき、対処を学ぶことで自らの心の健康の保持増進ができるようになる。
授業計画 【第15回】	第15回：認知症、介護の問題など、老年期の心理的問題を理解し説明できる。 定期試験
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・下記項目を本科目の到達目標として設定する。 ①臨床心理学の基礎を理解し、臨床心理学的援助を理解し説明できる。 ②知能検査や心理検査など心理アセスメントについて説明できる。 ③いくつかの精神障害の症状や特徴、彼らの処遇と人権擁護の問題について理解し説明できる。 ④発達上の心理学的問題について理解し説明できる。 ⑤ストレスへの気づき、対処を学ぶことで自らの心の健康の保持増進ができるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	指定した教科書を事前に熟読し、次回の講義内容を把握する。30分程度
授業時間外の学修 【復習】	授業で学んだ内容について配布資料、テキストを一読し、要点を整理してください。30分程度
課題に対する フィードバック	レポート、最終試験は評価後、返却及び解説します。
評価方法・基準	本講義の評価は、 ①学習意欲（授業中） 50点 ②レポート 20点 ③最終試験 30点
テキスト	『よくわかる臨床心理学』 ミネルヴァ書房 下山晴彦 編
参考書	
備考	